修学旅行新聞

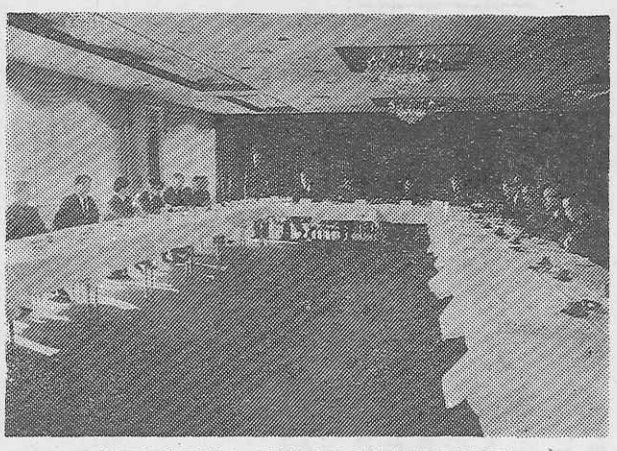
発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

生徒増に輸送力確保

山本理事長が挨拶「連帯と協調のもとで」

三地区 修旅連絡協総会開く



三地区協秋季総会で挨拶する全修協山本理事長（蒲郡市富貴荘で）

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会（福井繁会長）の本年度秋季総会は十一月十五、十六日の二日間にわたって愛知県蒲郡市三谷温泉・富貴荘に各修旅委代表のほか顧問の全修協理事長・山本種一氏や特別委員が出席して開催。挨拶に立った山本理事長は「連帯と協調のなかでこの三地区協の運動が着々と進んでいることは同慶にたえない。今後も各位が一致団結して修学旅行の改善運動にいっそうのご活躍を願いたい」と述べた。「修学旅行実施上の諸研究」をテーマとして具体的な協議を重ね大きな成果をあげた。

旅費高騰、限界に

第一日は午後二時に開会、福井繁会長挨拶のあと顧問の全修協理事長山本種一氏は「この総会は早くも十七回を迎えた。その間、役員は変わっても使命は連綿として引きつがれ成果は教育界から注目されている。この連帯と協調の精神によって今後も起しうる多くの問題に対処し、教育界の期待に添うよう望みたい。全修協は全組織をあげて協力いたす所存である」と述べた。

小泉事務局長（全修協研究部長）から経過報告があり、協議に入って▽五十五年度十月一日実施予定の国鉄時刻改正に対する要望については各地区から次の通り意見が出た。

【関東】五十六年度は生徒数が減少するが、五十七年度は約二万名におよぶ増加が予測される。その対応運動が必要だ。したがって来年のダイヤ改正時にはその点を考慮し臨時列車などを組み入れるよう国鉄に要望したい。

【東海】この対策は各地区ごとに行うべきで、最近の輸送が窮屈な現状から根本的に是正しなければなるまい。

【近畿】すでに二年間にわたり運動を展開中だ。山陽新幹線にもう一本増設することが必要だし、定期列車の代用も考えられるが、五十五年度の人員を基本として陳情をかさねたい。

各地区が抱えている問題については関東が東北・上越新幹線開通をひかえ修学旅行の同方面への移行措置や学年末の三月に実施希望校に対しては料金の割引き適用を要望、東海からは恒例化した交通ストによる対策は焦眉の急であり修学旅行がストのあおりを食い、ひいては学校行事に支障を来たさぬよう配慮すべきだ、と発言。

福井繁会長

また近畿からは「諸費用の高騰に伴ない心然的に修学旅行へ影響をおよぼす。従来、三万円をわずか上回わる程度であったが、来年は三万五千円との声をきく。修学旅行費としてはこのへんが限度というべきだろう。どこで節減するかも重要な課題だ。これに伴なって教職員の引率旅費もあがり、一般旅費に食い込む状態だ」と発言があった。

さらに貸切りバス料金の値上げについては上下限一〇%の範囲内での運用が望ましいとすることに対し「基本料金そのものが不明だ。もっと研究を要するのではないか（関東）。陸運局は本省の指示で方針をたてているが、料金は季節や旅行業者の力が大きく左右するのではないか（近畿）」などの意見が出た。

引率教職員の旅費については小泉事務局長が「各県から要望してこない。また、定額制を採用すると現行より低くなるおそれもある」との文部省初中局財務課の見解を示したのに対し、各修旅委が率先して市町村経由で県へ要求すべきだとの結論に達した。つづいて九州地区の現況について大神一雄氏は次の通り述べた。「昨年は中学校長会、同幹事会を各二回ずつ開き、修旅委の組織づくりを提案したが、まだ熱意不足だ。九州の修学旅行は南部が北へ、北部は南へ行くし、大分は四国や関西など多岐にわたり、一本化は困難な状態だ。

福岡県内でも南九州、中四国、関西方面など方面が分れている。新幹線利用は多いが未組織のため各校独自で実施し、料金減免の特典もない。しかしこれらの困難を打破し、先ず福岡県で委員会をつくり漸次全九州に及ぼしたい」とその意欲を明らかにした。

▽本年度の修学旅行研究校は東海、近畿を除き関東は栃木県二宮町の久下田中学校（大根田憲校長）に決定したと報告があった。

また来年度の春季総会は六月下旬関東地区内で開催を決定して午後四時すぎ閉会、二日目は三ヶ根山豊川稲荷などを見学後、豊橋駅で散会した。

総会の出席者

総会の出席者は次の通り。（順不同、敬称略）

【顧問】山本種一（全修協理事長）

【関修委】浅香久（埼玉・常盤中）高橋弁敷（同・八幡木中）大塚慎男（同・大砂土中）沢田克郎（同・加治中）荒井伸男（茨城・水戸三中）酒井宝祐（千葉・松戸三中）斎藤留夫（群馬・新治中）

【東海三県修旅委】早川高徳（愛知・前津中）高木義明（岐阜・長良中）西沢増太郎（三重・浜島中）

【近畿二府四県修旅委】福井繁（大阪・河内長野東中）桜井勇助（京都・第二訓中）谷田博（兵庫・長尾中）仏性紀男（滋賀・粟津中）水本八千穂（和歌山・松洋中＝熊代正一氏の代理）

【九州地区】大神一雄（福岡・舞鶴中）竹内美博（同・百道中）

【特別委員】安川武男、横山正

【全修協】前田寛（事務局長）

【業界代表】土肥和彦（近畿日本ツーリスト株式会社取締役）ほか。

研修旅行に積極方策

全修協の地区会議終わる

全修協では十一月六日の東北地区を皮切りに十二月七日の近畿地区まで六ブロック会議を開催。山本理事長をはじめ本部から前田事務局長ほか職員、各都道府県支部長および友誼団体の役職員が出席した。

修学旅行関係では改善運動の経過と今後の方針、また研修旅行は本年の反省と来年度の計画について協議を重ねた。研修旅行では各地区とも積極的な意見が交わされ来年度は各支部が地域性を生かして参加者の獲得に総力をあげ、現職教職員を中心に既参加者、退職者にも強く呼びかける方策を打ちたてることになった。

全体計画としては春が十一コース（一般研修四、特別研修七）に千四百名、夏が二十コース（一般研修十六、特別研修四）で五千六百名、海外コース百五十名と決定した。

企画内容としては一時休止コースの復活、日程を短縮して費用の高騰を抑えるなどのほか、「非公開文化財」「韓国の史跡」「ソ連・東欧」などの新コース設定も検討された。

また退職教職員向けには、各シーズンの特徴、地域の風物を重点的に取り入れたコースをつくる方針で臨むことになった。

さらに全国各学校掲示用をはじめダイレクト・メールによるチラシも刷新を加え、早期配布を行うことも決定した。

全修協役員会

12月12日、東京で開く

全修協の第五十回役員会は十二月十二日午後二時から東京・中央区築地二—一—八「桂」に山本種一理事長はじめ全役員が出席して開催する。協議は①五十四年事業の中間報告②五十五年の事業計画など。

事務局会議ひらく

12月4日、全福協が

全福協（横枝元文会長、加盟団体＝日本教職員組合、日本教職員共済会、日本生活協同組合学協部会、全国学校用品株式会社、全国教職員互助団体協議会、日本教育公務員弘済会、全国修学旅行研究協会）の事務局会議は十二月四日午後一時三十分から東京・千代田区の日本教育会館会議室で開催。

全修協からは前田事務局長が出席して修学旅行改善指導の現況と研修旅行の方針について報告した。

新幹線の工事日

56・57年度が内定

国鉄新幹線の五十六年、五十七年度工事日は次の通り内定した。当日は東京—新大阪間、午前中運休する。

【五十六年度】七月八日、九月九日、十一月十八日、十二月九日

【五十七年度】一月二十七日、二月二十四日。

いずれも水曜日。以下未定。

風紋

十二月のみそかともなると除夜の鐘を想い起こす。百八つの煩悩を払い清めて新しい年を迎えるのだという。

今、鐘の音はラジオかテレビに頼らねばならない。私の幼ない頃は京の寺々の生（なま）の鐘の音が生活の中にあった。その音は故里を思い出させ、懐しさがひとしおである▼小学生の頃、実家が禅寺相国寺の地所内にあった。われら遊び仲間は日暮れまで境内で走りごっこや野球に遊びほうけていると、暮六つの鐘が「ゴオーン」と鳴る。その響きが薄闇を通して消えていく。今まで騒いでいた連中も急に静かになり、そそくさと家路についた▼戦後毎年、除夜の鐘を聴くばかりが能ではないと思い、三条大橋ほとりの寺で下宿の若主人と語らい、除夜の鐘を撞かせてもらった。一人が鐘を撞き、もう一人が数をかぞえる。一人では数を間違える。一と撞きすると鐘の響きは音の波となって静かに静かに消えていく。そのリズムに引き入れられ陶然として撞くのを忘れる。肌を刺す寒気も苦にならぬ。交替してやっと撞き終ったとき疲れは覚えず、何かしら清々しい感動にうたれ心満ち足りた▼大学生で東京にいた頃、かがり火をたく中を人にもまれての明治神宮へ夜明けの初詣でをしたこともある。また現職のとき一番電車で生駒連山の一角交野山に登り生徒たちと初日の出を拝んだこともある。これみな今にして懐しい想い出とはなった▼今はどうだろうか。こたつにあたりながらの誰もが見る紅白歌合戦、そしてテレビの、湯の中で撞くような鐘の音を聴きながらの年越しそば、誰もがする同じパターン、どうにも感慨が湧かない▼昔、漂泊の思いやまず、旅に出た西行、芭蕉の聴く古寺の鐘の音、祇園精舎の鐘の響きに思いを馳せながら、来しかた、おのが人生をしみじみと述懐する年にでもなったのであろうか。ともあれ思うに任せないが、何か自分なりに個性のある往く年・来る年の迎えかたをしたいものである。（S）

KANSAI KISEN

思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅

●貸切専用船「こはく丸」もご利用下さい
●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）

お問合せは＝大阪市港区弁天6—7—15 ☎(06)574—9161
東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03)274—4271
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ

関西汽船

学ぶ、残す、
自己を見い出す
修学旅行にしたい。
ツーリストが
お世話します。

ツーリストは学校の主体性を尊重し、その特性に沿った個性ゆたかな旅づくりと積極的に取組んでいます。地元警察や病院などとの協力体制を密にし、万が一の事故にも万全の構え。また、事前指導用の修学旅行映画を制作し、指導の推進をバックアップ。多彩なご要望に綿密なプランですばやくお応えしています。

近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

研修旅行のご案内

沖縄と八重山へ

冬季の2コース

見学地も豊富に組み入れ

秋につづく全修協主催の冬季教職員研修旅行は、十二月二十五日出発の「沖縄と八重山」と来年一月十一日出発の「沖縄」二コースで実施される。暖かな南国で、輝く太陽を満喫しながら、同地方特有の景観や風俗のほか、忘れることのできない戦跡など、じゅうぶん研修できるだろう。くわしくは実施都道府県の全修協支部、協力機関にお問い合わせのこと。

沖縄と八重山

▽期日　五十四年十二月二十五日―同二十九日（四泊五日）

▽会費　十三万九千八百円（羽田空港―羽田空港）十一万九千八百円（福岡空港―福岡空港）

▽実施する支部　東京都、埼玉県、千葉県、群馬県、茨城県、広島県、山口県、愛媛県、佐賀県、長崎県。

▽コース　①羽田空港（福岡空港）―那覇空港―浦添・ヨードレ王陵―那覇市内―守礼の門―金城石畳―霊御殿―那覇泊②那覇空港―石垣空港―石垣港―竹富島―石垣港―島内見学（講師同行）宮良殿内、桃林寺、唐人墓、ヒルギ林田平湾―石垣泊③石垣空港―宮古空港―島内見学・亜熱帯植物園、東平安名崎、ドイツ皇帝記念碑、人頭税石、下川砂山―宮古泊④宮古空港―那覇空港―中・北部地区見学、中城城跡、中村家、万座毛ムーンビーチ―那覇泊⑤南部戦跡ひめゆりの塔、健児の塔、摩文仁丘―玉泉洞―那覇空港―（福岡空港）―羽田空港。

沖縄

▽期日　五十五年一月十一日―同十四日（三泊四日）

▽会費　九万二千円（羽田空港―羽田空港）北海道は別建て。

▽実施する支部　北海道、青森県、秋田県、岩手県。

▽コース　①羽田（千歳）―沖縄―那覇ホテル泊②中北部見学（中城城跡、多幸山、東南植物園、万座毛、コザ、海洋博跡地公園、ムーンビーチ―ホテル泊③市内南部見学（ヨードレ王陵、守礼の門、県立博物館、糸満、ひめゆりの塔、健児の塔、玉泉洞）ホテル泊④自由見学、ショッピングなど―沖縄―羽田（千歳）

春の研修旅行

来年三月下旬に実施される春季教職員研修旅行のコースは次の通り。

▽鎌倉の史跡探訪▽美濃・瀬戸と木曽▽飛騨高山と加賀・越前▽大和路▽早春の京都▽萩・津和野・山口▽西九州▽沖縄と八重山

要項チラシは来年一月、各学校あてに送付する。なおコースによっては実施しない県もある。

「来年も参加したい」

研修旅行のアンケートから

全修協主催の教職員・本年度夏季研修旅行は精選された見学地、すぐれた講演などで参加者から好評を受けた。北海道一周A、B、利尻・礼文に続いて他コースの参加者のアンケートの中からひろってみよう。（順不同・敬称略）

知床・納沙布

○実地見聞、資料など申し分がなかった。風蓮湖は印象的。添乗員は細かいところにまでよく気付き、物腰もソフトで好感がもてた。責任感とサービスに調和がとれて旅行計画をスムーズに運んでくれた。（山梨・小野美津子）

○現場を見学しながらの研修は効果的で、考えさせられることが多く有意義だった。（福島・宇津木文子）

○別海酪農新村での講演がたいへん参考になった。今後も続けてほしい。（神奈川・大久たりよ）

○講演はわかりやすく、資料とともにたいへん参考になった。研修旅行はいつまでも続けてほしい。来年から毎年参加したい。（山口・宮田栄一）

○別海酪農新村での話はわかりやすくよかった。（三重・藤崎信夫）

○四人連れで参加、ほんとうによかったと思う。子どもがいたので少々さわがしくて迷惑をかけたことおゆるしください。（熊本・吉田幸子）

○部屋割に気を使っていただきありがとう。すばらしい研修旅行だった。（東京・竹内みゆき）

○変化に富んだ計画、楽しく参加することができた。細かい配慮どうもありがとう。（富山・中野八重子）

○はじめての参加で不安だったが関係者のお骨折りで楽しくすごせました。これからも参加したいと思います。（茨城・山田君代）

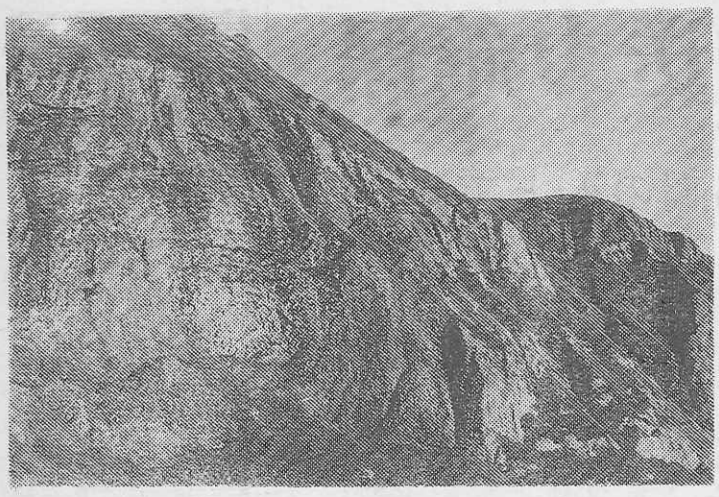
九州一周

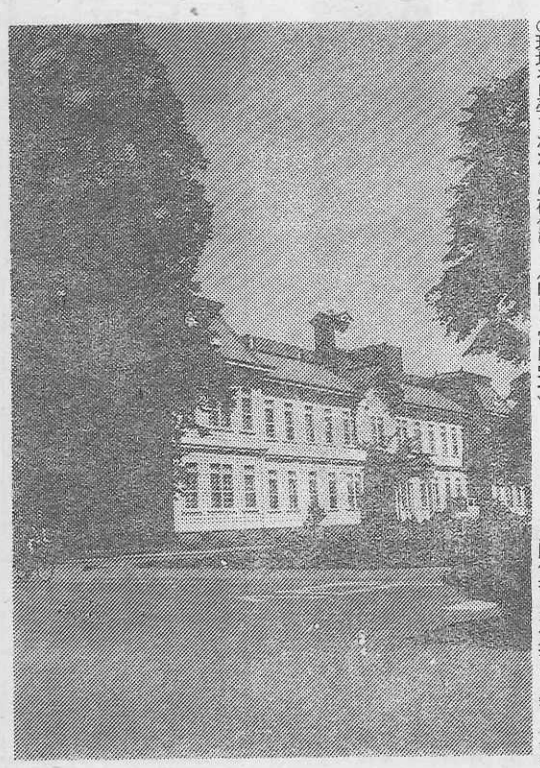
○西都原古墳では長年、この仕事に情熱をかけておられる講師のお話を聞き、ひき込まれるようだった。この深い感動は忘れられない。（三重・伴花子）

○はじめて参加したが年齢に合ったコース、時間のとりかたなどよかったと思う。今後も参加したい気持ちだ。いろいろありがとう。（富山・道元静子）

○阿蘇の大噴煙、長崎の原爆資料などを見て、いまの自分に銘すること多く感謝します。初参加です。（富山・道元宏昭）

○西都原古墳での講師はもの静かで親切、とても感じがよかった。宿泊は毎日同じ人でなくいろいろな県の人との組み合わせのほうが親しみが増してよいのでは。毎年参加している。（静岡・原田和子）





写真上は本年度研修旅行写真コンクール特選作品、利尻・礼文コース「礼文島・桃岩」仁井妙子さん「東京都品川区東五反田三―一―八」下は北海道観光連盟賞、北海道一周Bコース「北大」姉尾清子さん（岡山市吉備津一〇〇八）

「舞楽面」展

奈良国立博物館

【奈良】奈良国立博物館（近鉄奈良駅下車）では、来年一月末まで「舞楽面」の特別陳列を催している。舞楽は雅楽ともよばれ種々の管弦を用いて演奏される楽にあわせて演舞（舞踏）するもので、鮮やかで色美しい装束をつけた舞人が仮面をつけて優雅に舞うものをいう。その仮面を総称して舞楽面といい、それぞれは曲名で呼ばれており、楽曲は古くから百曲をこえたようであるが、仮面をつけるものはそのうち三分の一ていどであった。現存するものは二十四種。

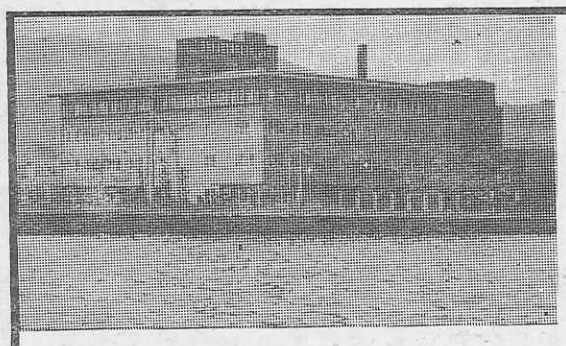
舞楽は伎楽と同じく中国大陸や朝鮮半島から仏教の伝来と相前後して伝わっており、日本書紀、続日本紀にその記載がみられ、舞楽はその源流により唐楽、新羅楽、百済楽、高麗楽、度羅楽、林邑楽、渤海楽などに分けられるという。

今回の特別陳列は同館に寄託された各社寺の舞楽面を中心に、近くの社寺所蔵の指定品を中心に舞楽面の代表作品ばかり。

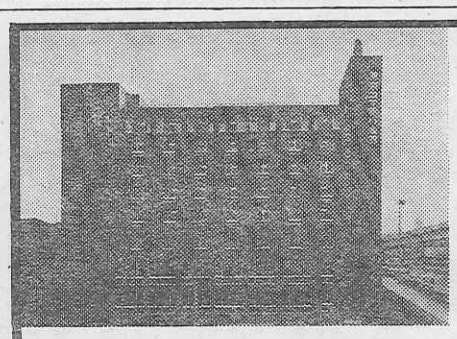
入館料は一般二百円、大・高校生六十円、中・小学生四十円。月曜休み。＝写真は陳列されている東大寺の舞楽面「散手」

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。
静寂のなかに憩いのひととき―。

〈修学旅行の専用旅館〉
〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル
電話0460－4－8595(代表)



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)
東京 コマ旅行会館